

## アドヴァイザーとの意見交換会 要旨

【日 時】平成20年3月22日(土) 午前10時～12時まで

【会 場】長岡リリックホール 第3スタジオ

【参加者】25人(市民15人、財団7人、市3人)

### 【内 容】

#### 1 施設見学

少年少女合唱団練習風景、施設の改善点等

#### 2 意見交換会

##### ◆ 衛アドヴァイザー

リリックホールは素晴らしいホールだと思います。ガラス張りで借景が美しく、楽屋ロビーには自然光が差し込みますし、ホワイエ等には特注のイス等も多くぜいたくなつくりとなっています。

しかし、現在は有効に生かされていません。何もやっていないときには、残念ながら誰もいません。

また、ドアチケット制度は日本では珍しい制度で、ホワイエを自由に使え、空いた空間をいろいろなことに活用できます。

リリックホールには、レストランがありません。可児市文化創造センター(以下、可児)では、レストランの利用のためだけに来られる人がいます。アニバーサリーチケットやコンサートとセットになったビフォーディナーなど、レストランと様々な提携をしています。

劇場経営になってしましますが、劇場では様々な経験・体験をしてもらいたいと考えています。これは、ビュッフェに美味しいお茶とクッキーがあることでも良いと思います。そして周囲には椅子を置いて欲しい。賑わいを起こし、“リリックしようよ!”を合言葉に使ってもらえればうれしいことです。

可児では、24万人の来場者のうち4万人は何も用の無い人です。それは様々な仕掛けをしているからです。例えば、11月末からクリスマスイルミネーションを1ヶ月行いました。思い出が宿っている、思い出が残るホール作りを目指しています。

リリックホールではコンサートホールやシアターを安い料金で練習使用できるようになりました。本番を行うステージで、“音づくり”や“場当たり”ができることは大切なことだと思います。

「ホワイエにモーツァルト等のぬいぐるみをぶら下げることはできないだろうか？」等と考えています。楽しい場所であるべきだし、本来良い環境を持っています。もちろん市民のみなさんの力も必要です。

施設を使う人は、受益者のみに留まらず、芸術・文化の供給者になって欲しいと思います。そのような意識を持つだけで、かなり違ってきます。

市民と財団が一緒になって賑わいを作っていきましょう。ホワイエやラウンジ、自動演奏ピアノ等いろいろな工夫はできます。夜の波ガラスの点灯はランドマークにもなるし、デートコースにもなります。思い出に残る、デートコースになればしめたものです。

「あれをやってくれ!」ではなく、やるなら財団に提案して協働して行った方が良いでしょう。

指定管理者制度については、いよいよ 2 順目になりますが、民間業者大手は多くの施設を獲得していく方向になるでしょう。行財政改善というと、コストダウンのみが強調されますが、本来は適正なコストで、良いサービスが行われることであると思います。民間業者が指定管理者になれば、利用者にしわ寄せが来ると考えた方がよいでしょう。みんなで知恵を出し合って、財団を支えていくことが重要であると思います。

.....

◆ 参加者

可児では、どのように市民が関わっていますか？

◆ 衛アドヴァイザー

NPO 法人のアーラ・クルーズというのがあり、館内の一室を与えています。コンサートの企画を行うグループ、フロントのグループ等、約 80 人が登録しています。今後、モニター制度を設ける予定です。数ヶ月に 1 回、食事をしながら意見を聞きます。これらは、すべてボランティアで行っています。

◆ 参加者

もっと、多くの市民を巻き込んでやっていかないといけないと痛感しました。

今日は、財団や市の関係者が輪の外であり、一体感が無いと感じました。また、財団と衛氏のやり取りした提案の内容も是非教えてください。

◆ 衛アドヴァイザー

今日は、1 回目ということもあり、財団や市の関係者が輪に入っていなかったが、これで終わりではないので、次回へのステップと考えたらどうでしょう。こうやって、皆さんが集っただけでも大きな成果であると思います。

提案の内容については、事務局を通して後日お知らせします。

◆ 参加者

夜間の活動後、23:30 頃まで寒い外でミーティングすることもあります。スタジオは 22:00 までで充分なので、せめてロビーをもう少し遅くまで開放して欲しいと思います。

◆ 衛アドヴァイザー

実態に合った利用時間を設定する必要があると思います。多くの施設は、実態を把握していないのではないのでしょうか。

◆ 参加者

稽古場所をもっと安価に利用できるように、定期券みたいなものを考えられませんか？そうすれば、ホールに来る回数も増えると思います。

◆ 衛アドヴァイザー

いつでもフリーに使えるということは、管理上厳しいと思います。ただ、財団と一緒に事業を行うなどということでは考えられると思います。

◆ 衛アドヴァイザー

78%の人が、コンサートの前か後にレストラン等で飲食をしているというデータがあります。このような実態を把握しながら、賑わいのあるホールづくりを市民の皆さんと共に行っていきたいと思います。

この会も、今日の話をもとに今後続けていけば、必ず成果に繋がると思います。他の人を巻き込み、会の持ち方なども工夫しながら、これからも続けていきたいと思います。